

核兵器廃絶を願って!



西支部は新室見診療所から西区役所まで行進しました。

地域と福岡医療団をつなぐ

いきいき健康

2022 9 vol.99

福岡医療団
発行責任者 舟越光彦
福岡市博多区千代5-18-1
TEL 092-651-1522
Mail fk-tomo@fid.jp

福岡医療団の事業所、ふくおか健康友の会の支部で草の根の活動展開

原水爆禁止2022年世界大会が開催されました。福岡医療団の事業所や友の会の支部で核兵器廃絶を願って活動を進めました。今年の平和行進は熱中症やコロナの影響

で歩くことに制限がありました。西支部では新室見診療所から西区役所まで元氣に行進し核兵器廃絶を訴えました。7月14日には千代診療所前にて平和行進歓迎集会が開

催され、千鳥橋病院の角銅しおり副院長が「戦争は命や人権を踏みにじる行為であり、特に弱い立場の人がまず犠牲になります。絶対に許せません。昨年1月に核兵器禁止条約が発効されました。核保有国や核の傘にいる国、日本政府も参加して

くりました。地域や職場、町や市など草の根から核兵器廃絶、9条を守ろうという声を上げていきましよう」とあいさつを行いました。7月26日には全日本民医連平和の波行動、7月28日には「折り鶴を広島に届ける会」、8月4日

いませんが、たくさんさんの小さな国々が核兵器をなくしようという世界の動きがあります。千鳥橋病院も核兵器禁止条約を推進する立場で宣言をつくりました。地域や職場、町や市など草の根から核兵器廃絶、9条を守ろうという声を上げていきましよう」とあいさつを行いました。7月26日には全日本民医連平和の波行動、7月28日には「折り鶴を広島に届ける会」、8月4日からの世界大会(オンライン)には多くの職員、友の会会員が参加しました。



角銅しおり副院長

折鶴を広島に届けました

7月28日に、友の会会員のみなさんや通所リハの利用者さん、各職場で協力をいただいた折り鶴5000羽と平和の願いが書かれたペナントが「折り鶴を広島に届ける会」にて代表団に手渡されました。



「改憲勢力」が3分の2を占める

日本国憲法96条は、憲法が簡単に変えられない、憲法の改正には総議員の3分の2以上の賛成による国会の発議と国民投票が必要であるとされています。先の参議院選挙で、自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党の「改憲勢力」4党が、国民投票にかけるための発議に必要な3分の2以上の議席を占めました。4党は衆議院でも3分の2以上の議席を占めており、岸田文雄首相は9条への自衛隊明記と

緊急事態条項新設に照準を定め、発議をならんだ具体案の作成へ議論を加速させる意向を示しています。

平和憲法を守るう!

改憲ノー、憲法を守りいかせの声を

二度と戦争をしないことを誓った日本国憲法は、施行されてから

75年になりました。ロシア軍によるウクライナ侵略や中国による台湾への武力威嚇、北朝鮮のミサイル発射など国際的緊張が高まる今、憲法9条をいかに平和的外交により緊張を緩和する努力こそが、戦争を起させない唯一の力です。憲法改悪を許さない全国署名へのご協力をお願いします。自民党をはじめとする改憲勢力による改憲発議を許さず、ご一緒に改憲ノー、憲法を守りいかせの声を上げましょう。



みんなで楽しもう!

ハイキングウォーキングラリー

10月よりヘルスチャレンジ企画を行います。今回は、3月~4月に実施予定の「北海道ウォーキング」への挑戦権をかけて、**1 本州縦断コース**、**2 日本海側海岸線コース**、**3 太平洋側海岸線コース**のいずれかにエントリーしてもらいます。

あわせて、健康づくりキャンペーンとして、前立腺がん検診(10月・11月)とインフルエンザ予防接種(10月~1月)キャンペーンに取り組みます。

この機会に仲間増やしをすすめましょう。

ヘルスチャレンジのお問い合わせは、友の会事務局(092-651-1522 村瀬)まで



ふくおか健康友の会西支部において地域から「加齢性難聴者への補聴器購入の補助がないだろうか」との要求が出されました。早速、ふくおか健康友の会が中心となって「加齢性難聴者補聴器購入補助制度を求める会」をつくり、請願署名に取り組みました。

年齢を重ねていくと聞こえにくくなる「加齢性難聴」は、高齢者の引きこもりや孤立、事故、そして認知症

発症の大きな原因になるとして、専門家からその対策が求められています。厚生労働省の新オレンジプランでも、難聴が鬱や認知症の危険因子の一つとして挙げられています。

日本の難聴者は、推計1,430万人と言われていますが、そのうち補聴器保有者は、約210万人(14.4%)と極端に低くなっています。低くなっている要因は、購入費用が片耳で数万円から数十万円と高額なため、経済的な負担が非常に重くなるためです。

現在、国の補聴器購入への助成は、身体障害者福祉法第4条に規定する身体障害者で、障害者手帳を持つ両耳の平均聴力レベルが70デシベル以上の高度・重度難聴者が対象となっています。41デシベル以上の中等度以下の難聴者には助成制度がなく、生活に支障をきたす加齢性難聴者が増えて

「加齢性難聴者の補聴器の購入補助制度創設を求める」請願署名を広く協力を



博多支部



かすや支部

6月から8月にかけてふくおか健康友の会14の支部で支部総会が行われ、2021年度の活動総括と決算、2022年度の活動方針と予算が確認されました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から密を避けた少人数での開催や議案書を郵送して書面で決議したりと様々な手段を講じての開催となりました。



南支部

まだ収束の目途がたないコロナウイルス感染症ですが、コロナ禍の中、いかにして楽しい友の会活動を進めていくのか、友の会会員が元気にいきいきと生活できるかなど、昨年以上に創意工夫した取り組みとすることを確認しました。



城南支部

2022年度も、コロナに負けず、楽しく・元気に友の会らしい活動を展開していきます。ぜひ、友の会の活動にご参加下さい。



ご協力下さい

「いきいき健康」新聞の帯封作業と手配りをしてくださる方を募集しています。

【新聞の帯封作業】

各支部によって発行部数は異なりますが、病院や診療所、または地域の施設において「いきいき健康」新聞の帯封作業を行っています。

【新聞の手配り】

「いきいき健康」新聞は、手配り又は郵送にて会員さんのお宅にお届けしています。各地域で手配りをしてくださる方が増えれば、支部の財政強化、友の会活動の発展につながります。

2ヶ月に一度、空いた時間を利用してお手伝い下さい。

【お問い合わせ・お申し込み】

ふくおか健康友の会事務局

電話：092-651-1522



「健康づくりと安心して暮らせるまちづくり」をすすめます
ふくおか健康友の会
城南支部 第7回総会

いつも元気に 班活動 やりたいことを形にとらわれずに

「ケツメイシ班」(博多支部)



今年の4月に結成した「ケツメイシ班」です。毎月1回、班員の自宅で持ち回り開催しています。班名は、男性4人組からなる日本の音楽グループからとりました。菓草の名前でもあるそうです。これまでウォーキングや手話、写経、寺院巡りなど積極的に活動しています。今日は写経をやったんですが、おしゃべりに夢中でなかなか進みませんでした。手話は、あいさつの練習から始めて、今では歌に合わせて出来る様になりました。「今度は折り紙でもしようか」「健康体操もやりたいね」と班員から声があります。これからも自分たちがやりたいことを形にとらわれずにやっつけていこうと思います。とにかくおしゃべりが大好き。班会は30分程度で、

その後のおしゃべりタイムが本当の目的かも…。
「今は4人だけど、コロナが落ち着いたら、広い会場を借りて、もっと多くの人を誘いたい」と明るいケツメイシ班です。これからも元気に楽しい班活動を続けていきます。(班長 廣田裕子)



【ふくおか健康友の会】

(2022年7月末現在)

組織現勢	45,709世帯・人
寄附金	1,673,054円 (2022年度分実績)
協同基金応募	41,446,000円 (2022年度分実績)

*たくさんのご応募ありがとうございます。今後も健康増進活動を拡げて参ります。

健康に役に立つシリーズ 55

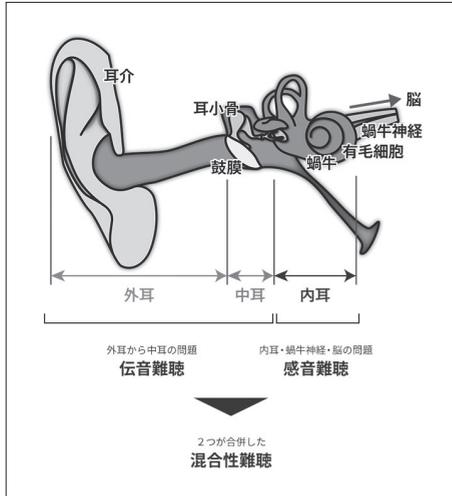
加齢性難聴について

本部組織部看護師 村瀬 浩子

「難聴」には次の3種類があります。

◎「伝音性」難聴

外耳や中耳が正常に機能しなくなり音が伝わりにくくなる難聴です。慢性中耳炎や滲出性中耳炎など主に中耳の疾患で見られます。音を大きくすれば聞こえますので補聴器などを使えば音を聞くことができます。

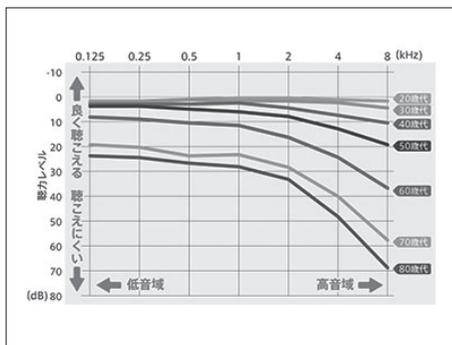


◎「感音性」難聴

内耳や聴神経など「感音器」と呼ばれる部分の障害によって起こる難聴です。原因は、加齢や病気・騒音など様々です。身近に起こってしまう可能性のある難聴ですが、現状では根本的な治療方法はありません。

◎「混合性」難聴

伝音性難聴と感音性難聴の2つが合併した難聴です。伝音性難聴と感音性難聴のどちらかの症状が強いかは個人差があるため、症状に応じて各種治療や補聴器などを使用します。



加齢と難聴（加齢性難聴）

加齢による聴力の低下は一般的に高音域から始まります。40歳代のうちはあまり自覚することはありませんが、確実に高音域の聴力レベルは下がってきます。

60歳代になると、「軽度難聴」レベルまで低下する音域が増え、聞こえが悪くなったことを感じる人が急激に増えてきます。さらに70歳をこえるとほとんどの音域の聴力が「軽度難聴」～「中等度難聴」レベルまで低下してしまいます。65～74歳では3人に1人、75歳以上では約半数が難聴に悩んでいるといわれています。

老化を遅らせるための生活習慣の見直し

- 生活習慣病の管理 栄養バランスのとれた食事
- 適度な運動
- 規則正しい睡眠
- 禁煙

早期発見、早期治療のために定期的に耳鼻咽喉科を受診しましょう！

いきいき 長生きまだまだ現役！ 71

班活動でいきいきとした日々

みやじま じゅんこ
宮島 淳子さん (90歳)
(たちばな支部)



淳子さんは1931年、4人兄妹の長女として誕生しました。幼いころは人見知りで、すぐに人の後ろに隠れてしまうような子どもでした。戦争の時は13歳で、自宅などへの直接的な被害はありませんでしたが、空襲警報と避難の繰り返しでまともに学校生活を

送ることができませんでした。そして1945年8月9日の長崎に原爆が投下された日は、柳川の地から山々の奥にあがるキノコ雲が見え、その光景は今でも忘れることができません。「戦争はどんな理由があっても絶対にしてはいけない」と強く語ります。22歳の時に叔母の紹介で知り合った3つ違いのご主人と結婚。二人の娘さんに恵まれました。ご主人の転勤で、西新、香椎と引っ越しを繰り返

し、現在お住いの新宮町へやってきて、52年になります。今夏は娘さんとお孫さん一家が遊びに来るのでその準備で大忙しです。健康は規則正しい生活から

グランドゴルフ班のな

い日でも毎日同じ時間に起きて、同じ時間に朝食を取っています。好き嫌いは無く食事も毎日手作りで、バランスを考えながら作ります。また、積極的に家から出て歩く機会を作るように

ご主人のクラブを継いで

現在、淳子さんの趣味はグランドゴルフです。ご主人が亡くなられた後に道具を引き継いで始めたのがきっかけです。15年近くやっていますが、今でもグランドゴルフがある日はいきいきしています。その他にも地域のいろいろなサークル活動に参加しており、運動や工作、そしてサークルの仲間たちとの交流を楽しんでいます。

～目に留める(留まる)～

何事も気づくことで始まると思いました。いくつもある見出しの中から“自分が知りたいこと”や“読んでみたいページ”その中でも、つながりや健康を選ぶ紙名は素晴らしいと思えました。
(田川支部わかば・ゆー)

～長生きしま～す～

千鳥橋病院と共に半世紀の坂本キミ子さん「いきいき長生きまだまだ現役70」を読んで、懐かしい名前。看護婦長(田中タカさん)そのお子さんの面倒を見ていらしたとかいうから驚きです。お子さんは年齢を重ねられましたが、お元気ですよ。私もあなた(坂本さん)を目標に長生きしたいものです。長生きしま～す。
(たちばな支部・藤田文代)

～おいそう…と言うだけ～

免疫力チャージメニューいつもメニューを見てはおいしそう…と言うだけ。食卓(食事)に出ることは無し!!
(博多支部・トシ)

～祈ってます～

コロナ、戦争、暗殺。この暗い世の中の時に青春を過ごしている若い人たちが、本当にかわいそうで…。せめて何十年か後にはすばらしい世界になっている事を祈っています。
(東・東支部・枝光幸子)

～功績を知りました～

歴史探訪で鴻臚館の場所を福岡城内(平和台)にあった事を発掘調査して発見、発表された事、中山平次郎九大教授の功績を知りました。
(かすや支部・合屋美智子)

～同じ過ちを繰り返してはならない～

先日、長崎の平和公園、原爆資料館に行ってきました。改めて、戦争の恐ろしさを知り、同じ過ちを繰り返してはならない事を痛感しました。
(たたら香椎支部・元重智昭)

～物騒な世の中～

物騒な世の中になってきています。このような世の中だからこそ“平和憲法だ”“守らなければ”という思いになります。暑い中御苦労様です。
(直鞆菜の花支部・すみれ)



(敬称略)

